

その他の成果の活用事例

1 アルカリ骨材反応による劣化を受けた道路橋の橋脚・橋台躯体に関する補修・補強ガイドライン（案）の発刊

近年、アルカリ骨材反応による劣化が進行した道路橋において、内部鋼材が破断するなど、健全性に深刻な悪影響を及ぼす危険性のある損傷が確認され、その対策が急務となっている。本資料は、2003年3月に国土交通省でとりまとめた「道路橋のアルカリ骨材反応に対する維持管理要領（案）」を補完する目的で、具体的な調査・補修・補強等の対策の考え方や実施の参考となる技術的な知見をとりまとめたものであり、アルカリ骨材反応による劣化を生じた道路構造物の維持管理の現場において活用されている。

道路研究部 道路構造物管理研究室長 玉越 隆史、主任研究官 七澤 利明

2 『密集市街地整備のための集団規定の運用ガイドブック』の普及

防災上危険な密集市街地の改善のため、建築基準法集団規定の特例制度を活用した建替え促進方策について解説した『密集市街地整備のための集団規定の運用ガイドブック』を、2007年1月に国総研資料として刊行した。本ガイドブックが特定行政庁の審査基準の策定や運用に活用・反映されることを期待し、密集市街地を抱える全国約300の地方公共団体等に配布するとともに、2008年7月に地方公共団体と民間事業者等を対象に東京と大阪で開催された(社)全国市街地再開発協会主催の「安全・安心まちづくりと地域の魅力を高めるまちづくり」研修会において本ガイドブックの内容を解説すること等により、普及を図っている。

都市研究部 都市開発研究室 主任研究官 勝又 済